

救急災害医療学学位プログラム（博士前期課程）

養成する人材像	体育・スポーツ現場や大規模イベントにおける救護から救急医療までの一連の対応に精通し、臨床推論に基づく的確な判断と初期対応ができる人材を養成する。さらに、災害発生時に求められる体制整備や多数傷病者対応、資源配分、多職種連携に対応できる人材を養成する。加えて、救急・災害医療に関する教育内容と教授法を修得し、指導力と国際的視野を備えた人材を養成する。								
教育研究の特徴	本プログラムは、心身の健康維持に関する基礎的理解を基盤に、救急・災害医療における高度な専門性と実践力を段階的に修得することを主眼とする。救急医学、災害医療学、危機管理学等の専門科目を体系的に配置し、スポーツ大会や大規模イベント、多数傷病者発生時（MCI）等の多様な局面を想定した実践的教育を通じて、現場で不可欠な即応的判断力と対応力を育成する。また、高機能シミュレーターを用いた教育や災害対応訓練、BCP（事業継続計画）策定演習等を通じて、組織的な危機管理能力を涵養する。さらに、AIやデータサイエンスを活用した医療データ解析やリスク評価に関する学修を統合し、データ駆動型（Data-driven）の救急・災害医療を実践できる次世代のリーダーを養成する。加えて、海外医療機関との連携による海外研修やフィールドワーク、医療英語およびグローバルヘルスの学修を通じ、国際的視野を備え、国内外の多様なフィールドで活躍できる専門人材の育成を図る。 本プログラムにおける主な教育研究領域は以下のとおりであり、学生は自身の関心や研究領域に応じて履修科目を選択する。 <研究領域> ・救急医療・蘇生科学 ・災害医療・危機管理 ・救急災害ロジスティクスと地域医療システム ・AI・データサイエンスの応用								
修了後の進路	後期課程への進学／大学教員／研究所スタッフ／医療機関／消防機関／警察官／自衛官／海上保安官／関係行政機関（特に災害対応）／中学校・高等学校教諭（保健体育）／専門学校教諭など								
科目区分	年次・学期	1年次				2年次			
		前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目 （必修）	身体総合学術論	2							
研究群共通科目 （選択）	保健医療学研究法特論	2	医療統計学特論	2	スポーツ救急演習	2			
	医療英語特論	2							
専門科目 （選択）	救急災害教育演習	(通年)	救急災害教育演習	2	特殊災害医療特論演習	(通年)	特殊災害医療特論演習	2	
	救急蘇生医学特論	2	救急災害医学特論	2					
	救急蘇生医学演習	(通年)	救急蘇生医学演習	2					
	救急災害医学演習	(通年)	救急災害医学演習	2					
研究指導科目 （必修）	救急災害医療学研究Ⅰ	2	救急災害医療学研究Ⅱ	2	救急災害医療学研究Ⅲ	4	救急災害医療学研究Ⅳ	4	
履修方法	次の履修方法により、30単位以上を修得すること。 (1) 大学院共通科目: 2単位 (2) 共通科目: 6単位 ※「保健医療学研究法特論」は必修 (3) 専門科目: 救急災害医療学学位プログラムの科目から10単位以上 (4) 研究群研究指導科目: 救急災害医療学研究Ⅰ～Ⅳの12単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。 ※他の学位プログラムが履修を認める科目を受講することはできるが、修了要件単位数に含まれない。								
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								
その他の学修・研究	学会発表		中間発表会 学会発表		修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会				